



小学生対象のワークショップの様子（岩田先生のトレードマークは白衣）

科研費をとれる先生

岩田亮 教諭

技術・情報科

岩田先生は、中学1年生の担任です。

研究活動と外部企業との共同研究！！

生徒に岩田先生の印象を聞いてみると「JAXA やロケットや宇宙好きの先生」「飛行機やロボット好きな先生」という答えが返ってくる。確かに職員室の岩田先生の机の上には、H2A ロケットの模型や宇宙飛行士のスノードームが置いてある。PCの壁紙は飛行機の整備工場。そんな岩田先生を SIT アカデミックニュース創刊号では紹介したいと思います。

研究者としての一面

岩田先生は、現在、中学1年生の担任、電子技術研究部の顧問、教務管理部の主任と大忙しにもかかわらず、研究活動も精力的にこなしており、その実績も同僚からみてもすごいんです。ちなみに、これまでの査読付き論文は5件が学会誌に掲載され、学会発表は海外で7件、国内で33件、競争的資金の採択件数は10件。

ここ最近5年間だけを見ると、最も採択されるのが難しいと言われる科研費を2度も獲得している。さらに、東京都私学財団の研究助成金にいたっては6件も採択され、2016年には3年間継続してきたプログラミング教育の指導方法に関する研究が評価され、東京都私学財団賞を受賞。

その他の主な受賞歴だけを列挙してみると、ソニー教育財団から子ども科学賞、本校の母体である芝浦工業大学からは研究活動が認められ梅村賞を受賞、経済産業省より情報モラルの授業が認められ学校賞を受賞、総務省からも情報セキュリティ

ティの取り組みが評価され、総務大臣賞を受賞、日本工学教育協会からは Best Presentation Award を受賞するなど、普段はおちゃめ笑顔の似合う岩田先生の実力は校内外から評価されています。

外部企業との共同研究

岩田先生は外部企業とも共同研究をされています。現在は、経済産業省と一緒に本校が幹事校となりIT系部活プロジェクトを推進。あるいは、キッズニア東京さんとは中学生がつくる中学生のための企画「ジュニアチャレンジジャパン」の制作委員ならびにキッズニア東京でも実施した岩田先生の「マンツーマンで学ぶロボットのメカニズム」ワークショップは満員御礼という混みようでした。さらに、レゴマインドストームの販売代理店である（株）アフレルさんとは、共同でロボット制御プログラミングのテキストを岩田先生の監修・執筆で第一弾が出版されるとのこと。第二、第三もあるそうです。

その他、大学の教職課程において情報教育法も教えているというから驚きます。普段は芝浦で中学生と高校生を教え、長期休暇中は大学生の授業、週末は、小学生対象のワークショップをこなしているそんな岩田先生に聞いてみました。

岩田先生なぜ研究をするんですか

正直にいうと不安だからです。あとは探求心だけです。どうすれば生徒は内発的な喜びや楽しさが湧いてくるのだろうか？そんなことばかり毎日考えています。



ものづくりの楽しさを伝えたいと話す岩田先生



キッズニア東京さんで実施したワークショップ